



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 OSJBホールディングス株式会社
 コード番号 5912 URL <http://www.osjb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画担当 (氏名) 橋本 幸彦
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6220-0601

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	35,584	3.7	3,494	27.5	3,524	28.5	2,520	40.2
30年3月期第3四半期	36,966	0.2	2,741	15.1	2,742	12.9	1,798	13.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,586百万円 (19.3%) 30年3月期第3四半期 2,168百万円 (0.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	21.09	
30年3月期第3四半期	15.04	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載をしております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	42,258	27,116	64.2	226.84
30年3月期	43,856	25,248	57.6	211.20

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 27,116百万円 30年3月期 25,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		6.00	6.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成31年3月期の配当予想の詳細については、平成31年2月13日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	4.9	3,800	18.3	3,800	14.6	2,700	26.8	22.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成31年3月期の連結業績予想の詳細については、平成31年2月13日公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	122,513,391 株	30年3月期	122,513,391 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	2,971,369 株	30年3月期	2,969,313 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	119,543,166 株	30年3月期3Q	119,571,708 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、総じて着実な成長が続いている海外経済のもとで、輸出はこのところ弱含み傾向となっているものの、生産は緩やかな増加傾向にあります。また、好調な企業収益や業況感を背景に、設備投資は増加傾向を続けています。個人消費は、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、振れを伴いながらも、緩やかに増加しており、景気は緩やかに回復しております。

公共投資につきましては、高めの水準を維持しつつ、横ばい圏内で推移しています。国の平成30年度一般会計予算では、補正予算において約0.4兆円の予算措置が講じられ、補正後の公共事業関係費では、前年度を下回っているものの、当四半期における公共工事請負金額は対前年比増と高水準で推移しており、公共投資は若干弱含みながらも総じて底堅く推移しております。

このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同四半期累計期間の実績を若干下回る358億8百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

当第3四半期連結会計期間の主要な受注は以下のとおりであります。

(建設事業)

・ニューマチックケーソン工事

戸田建設株式会社「北陸地整片掛橋下部その3」

・コンクリートの新設橋梁工事

国土交通省中部地方整備局「平成30年度 名二環木場 2高架橋西床版工事」

・橋梁の補修補強工事

西日本高速道路株式会社「中国自動車道（特定更新等）千種川橋床版取替工事Ⅰ」

(鋼構造物事業)

・鋼構造の新設橋梁工事

宮崎県「平成30年度交建防安第49-5-1号 国道219号 岩下工区（仮称）岩下橋 上部工工事」

売上につきましては、大きな工程の遅れもなく進捗は順調に推移しており、売上高は355億8千4百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注及び売上の状況により、553億7千5百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

損益面では、売上総利益は63億7千万円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益は34億9千4百万円（前年同四半期比27.5%増）、経常利益は35億2千4百万円（前年同四半期比28.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億2千万円（前年同四半期比40.2%増）となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設事業

当セグメントの売上高は316億8千2百万円（前年同四半期比6.2%減）、セグメント利益(営業利益)は36億1千7百万円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

② 鋼構造物事業

当セグメントの売上高は38億3千9百万円（前年同四半期比22.2%増）、セグメント利益(営業利益)は1千8百万円（前年同四半期はセグメント損失(営業損失)1億9千9百万円）となりました。

③ その他

太陽光発電による売電事業により、売上高は6千2百万円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント利益(営業利益)は2千6百万円（前年同四半期比16.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は422億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億9千7百万円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3.9%減少し、313億3千8百万円となりました。これは、現金及び預金が11億5千万円増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金が18億6千4百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2.8%減少し、109億1千9百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ22.8%減少し、107億5千4百万円となりました。これは、支払手形・工事未払金が13億3千1百万円、未払金が14億1千6百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6.1%減少し、43億8千7百万円となりました。これは、長期借入金が2億4千9百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7.4%増加し、271億1千6百万円となり、自己資本比率は64.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成30年5月11日に公表いたしました「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想数値から変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,456	13,607
受取手形・完成工事未収入金	17,462	15,598
未成工事支出金	959	517
材料貯蔵品	127	149
立替金	1,289	1,071
その他	324	395
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	32,618	31,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	583	562
機械及び装置（純額）	2,598	2,348
土地	4,041	4,072
建設仮勘定	85	374
その他（純額）	114	171
有形固定資産合計	7,423	7,528
無形固定資産		
その他	243	270
無形固定資産合計	243	270
投資その他の資産		
投資有価証券	1,936	1,979
破産更生債権等	640	640
繰延税金資産	1,405	886
その他	277	303
貸倒引当金	△688	△688
投資その他の資産合計	3,570	3,120
固定資産合計	11,238	10,919
資産合計	43,856	42,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	7,569	6,238
1年内償還予定の社債	100	100
1年内返済予定の長期借入金	285	285
未払金	2,048	632
未払法人税等	696	92
未成工事受入金	1,188	1,398
預り金	812	835
工事損失引当金	238	150
完成工事補償引当金	98	93
工場再編損失引当金	159	159
その他	736	768
流動負債合計	13,934	10,754
固定負債		
社債	50	—
長期借入金	1,357	1,107
退職給付に係る負債	3,264	3,278
その他	1	1
固定負債合計	4,673	4,387
負債合計	18,608	15,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	453	453
利益剰余金	24,596	26,399
自己株式	△657	△657
株主資本合計	25,393	27,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	312	333
退職給付に係る調整累計額	△457	△412
その他の包括利益累計額合計	△145	△79
純資産合計	25,248	27,116
負債純資産合計	43,856	42,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高		
完成工事高	36,966	35,584
売上原価		
完成工事原価	31,290	29,213
売上総利益		
完成工事総利益	5,675	6,370
販売費及び一般管理費	2,933	2,875
営業利益	2,741	3,494
営業外収益		
受取利息及び配当金	15	21
特許権使用料	28	20
受取損害賠償金	—	10
受取保険料	—	10
スクラップ売却益	8	23
その他	31	19
営業外収益合計	83	105
営業外費用		
支払利息	9	8
前受金保証料	21	20
固定資産処分損	24	—
支払手数料	22	41
その他	4	5
営業外費用合計	82	75
経常利益	2,742	3,524
特別利益		
固定資産売却益	165	4
特別利益合計	165	4
特別損失		
工場再編損失	36	—
特別損失合計	36	—
税金等調整前四半期純利益	2,872	3,529
法人税、住民税及び事業税	556	517
過年度法人税等	89	—
法人税等調整額	427	490
法人税等合計	1,073	1,008
四半期純利益	1,798	2,520
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,798	2,520

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,798	2,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	21
退職給付に係る調整額	166	44
その他の包括利益合計	369	65
四半期包括利益	2,168	2,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,168	2,586
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月28日 定時株主総会	普通株式	718	6.00	平成29年3月31日	平成29年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年6月27日 定時株主総会	普通株式	717	6.00	平成30年3月31日	平成30年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)3	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,761	3,141	36,902	63	36,966	—	36,966
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	129	133	—	133	△133	—
計	33,764	3,271	37,035	63	37,099	△133	36,966
セグメント利益又は損失(△)	3,115	△199	2,916	22	2,938	△197	2,741

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△197百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△226百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス㈱)及び連結子会社(㈱白石ホームズ)における発生費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)3	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,682	3,839	35,522	62	35,584	—	35,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	178	165	343	—	343	△343	—
計	31,860	4,005	35,865	62	35,927	△343	35,584
セグメント利益	3,617	18	3,635	26	3,662	△167	3,494

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△167百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△195百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス㈱)及び連結子会社(㈱白石ホームズ)における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

3. 補足情報

(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況

I 受注高

区 分	前第3四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	32,564	31,437	△1,127	△3.5	45,166
鋼構造物事業	5,717	4,309	△1,408	△24.6	6,540
その他	63	62	△1	△2.0	79
合 計	38,345	35,808	△2,537	△6.6	51,786

II 売上高

区 分	前第3四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	33,761	31,682	△2,079	△6.2	45,284
鋼構造物事業	3,141	3,839	698	22.2	4,215
その他	63	62	△1	△2.0	79
合 計	36,966	35,584	△1,382	△3.7	49,578

III 受注残高

区 分	前第3四半期 (平成29年12月31日)	当第3四半期 (平成30年12月31日)	増 減		前連結会計年度 (平成30年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	48,362	49,196	833	1.7	49,441
鋼構造物事業	5,960	6,179	218	3.7	5,709
その他	—	—	—	—	—
合 計	54,323	55,375	1,052	1.9	55,151